

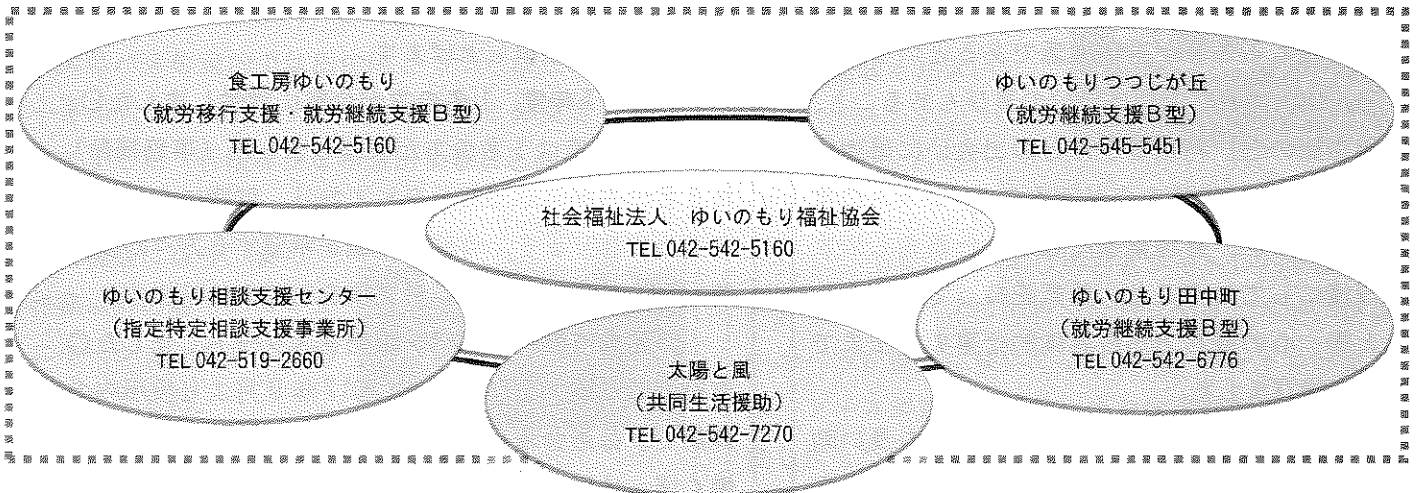
ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011

東京都昭島市上川原町1-9-15

電話：042-542-5160



「自分らしく働き暮らすことを実現する」

ゆいのもり福祉協会理事長 浅川 勤

日頃から、ゆいのもり福祉協会にご支援をいただきありがとうございます。昨年度の活動の成果と今年度の課題をまとめてみます。

○地域生活の支援と様々な働く場の提供

事業開始2年目のグループホームでは6名が地域生活に旅立ちました。

就職支援では、トレーニングソフトを導入しパソコントレーニングを開始しました。ゆいのもりつつじが丘とゆいのもり田中町では月額平均工賃をそれぞれ1400円、900円アップさせることができました。食工房ゆいのもりでは、昭島市のご理解により昭島市役所にて毎週金曜日にパン販売を始めました。

平均工賃は全国平均に比べまだ劣っていますが、清掃作業中心の方は月3万円以上の方もいらっしゃいます。作業の種類は、半日程度の簡易な軽作業からDM発送、日常清掃・定期清掃、花壇管理・公園清掃の野外作業、喫茶・製パンの食品事業まで様々な作業種をそろえ興味に合わせた選択ができるようになっていきます。しかし、工賃アップのためには、作業の選択と集中が今後の課題と言えます。

相談支援事業では、サービス利用計画作成にとどまらず、急な体調悪化や新たな障がいを発症した方たちへの臨機応変な支援を行いました。

○自律的経営のもととなる人財育成

人財育成では、専門機関に依頼して2日間をかけ

て「福祉人間力研修」を行いました。人としてそして職業人としての生き方考え方、理念に基づく経営を学びました。

○2018年度の課題は収入見込みの厳しさとゆいのもり田中町の移転

この4月より障がい福祉サービスの報酬単価が大きく下がりました。法人全体では約1,000万円以上の減額を予想しています。活動日を増やす対応策を始めています。

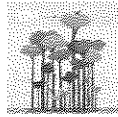
また、手狭になったゆいのもり田中町の環境改善が課題になっています。移転によりゆったりした作業環境と工賃UPを実現していきたいと思えます。

今年度も、一人一人が自分らしく安心して生きていけるよう、複数事業で厚みのある支援を展開してまいります。皆様のご支援ご協力をお願いします。

○ゆいのもり通信 No27 目次

「自分らしく暮らすことを実現する」	1
法人・各施設報告	2~4
2018年度新人職員紹介	2
職員配属一覧	3
2017年度事業報告	4~6
2017年度決算報告	7
ゆいのもりとともに歩む・寄付報告	8
役員一覧・その他	8

法人本部



○法人研修○

職員から「社会人基本マナー研修」の希望があり、それを受け2018年1月6日と2月17日、土曜日の2日間を使って、(株)入江感動経営研究所による「福祉人間力研修」を実施しました。

志を立てることが万物の源であるというお話から、他人の喜びの中に自分の喜びもあること、報恩感謝の心、利用者さんとの出会いに感謝すること、明るい挨拶を心がけること、プラスの言葉を使うこと、整理整頓に心がけ仕事をしやすい環境にしていくこと、勇気を持って行動すること等、心の持ち方から具体的仕事の作法まで多くを学びました。

また、他法人からの参加もありとても良い刺激になりました。偶然ですが、研修時間中に羽生選手の金メダルの演技があり、多くの感謝を述べる羽生選手の姿に、研修で学んだそのものがあり、忘れえない研修になりました。現在学んだことを月ごとの目標にして、法人全体で実践に取り組んでいます。



食工房ゆいのもり

ゆいのもり
食工房
パン工房

○2017年度フードグランプリ金賞受賞！！○

第6回昭島ブランド・フードグランプリにて『あきしまとろ〜りとろけるチーズカーリーぱん』が金賞を受賞いたしました。昨年に引き続き2年連続で受賞することができたのは日頃からお世話になっている皆様のご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

○2017年度、1名の方が企業に就労しました○

2017年度は1名の方が就職しました(事務補助)。また3名の方が外部で実習をしており、就職に向けての準備を進めております。今後も就職を希望する方々が安心してチャレンジできるよう就労支援をまいります。

○昭島市役所内でパン販売をスタートしました○

市役所のご協力をいただき、2017年9月より役所内の喫茶森前で、毎週金曜日にパン販売を開始しました。利用者が働く場、地域の方々とのふれあいの場として今後も販売を継続していきたいと考えております。この場を借りて御礼申し上げます。

○日帰り研修旅行を実施○

栃木県に日帰り研修旅行に行ってきました。益子焼きの絵付け体験と、パン屋「粉とクリーム小山店」の見学を組み合わせた旅行にメンバー・職員含めて25名が参加しました。「粉とクリーム」の世界観を大切にされた店内の作り、商品の豊富さ、接客などに触れ、食工房をよりよくしようと皆で考えるきっかけとなる旅行となりました。



2018年度 新人職員 紹介

鹿島 崇 (食工房ゆいのもり勤務)

趣味はサッカー、スノーボード、食べ歩き、音楽鑑賞などです。年は取っていますが福祉職員としては1年生なので、メンバーさんと色々と教えて頂き成長していきたいと思っています。



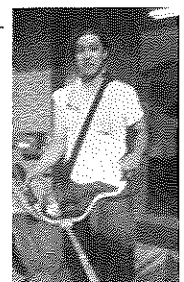
渡邊 清美 (ゆいのもりつつじが丘勤務)

障がい者通所施設で7年、パン屋で3年の経験を経てゆいのもりに来ました。日々先輩職員や利用者さんと働きながら学ぶ毎日です。今までの経験を活かしつつ新たなことにも挑戦していきたいと思っています。よろしく申し上げます。



小坂橋 良佑 (ゆいのもり田中町勤務)

趣味は、サッカー観戦やサッカーをすることです。社会人一年目で右も左もわからない状態でしたが田中町の職員さんやメンバーさんに支えられ、日々成長出来ています。「明るく笑顔で元気よく」をモットーにフレッシュな風を巻き起こせるように日々精進して参りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



ゆいのもりつつじが丘



○日帰り旅行～イチゴ狩り～○

3月20日にゆいのもり田中町と合同で山梨県甲府市にあるいちご農園へいちご狩りに行きました。当日は少し雨がぱらついた時もありましたが、沢山の種類のいちごに囲まれ、春の訪れを感じました。

大型バスの車内では田中町とつつじが丘のメンバーさん同士の会話もあり、他事業所との交流も楽しめました。普段なかなか遠出することの少ないメンバーさんにとって貴重な機会になり、また、作業以外の場でのコミュニケーションも楽しめた様子でした。



○PC講座○

2018年度から就労のためのパソコン講座を始めました。ICT治具というプログラムを使用し、基本操作や文字の入力、WordやExcelの習得を目的として実施しています。

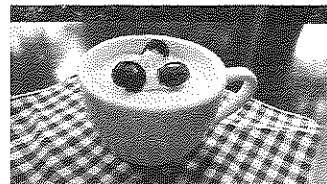
現在の参加者は3名で、中には初めての方もいらっしゃいましたが、週に1～2日のPC講座を受け、現在では簡単な表やチラシの作成まで出来るようになりました。参加している方は手応えを感じていらっしゃる様子で、「物足りないので3～4時間くらいやりたい」という声もあり、皆さんの就労に対する高い意欲とPC講座への高い需要を感じました。

ゆいのもり田中町



○手作りアイス販売中！○

今年度より試行販売していた手作りアイスの本格販売を始めました。バニラと抹茶の2種類の味をご用意。9月末までの販売予定ではありますが、ぜひご賞味ください。



○日帰り旅行○

6月に、山梨県のハイジの村とシャトレゼ工場へ行きました。ハイジの村ではバラが見ごろで、世界中のバラが綺麗に咲いていました。シャトレゼでは、アイスが食べ放題で、色々な種類のアイスを楽しめました。



職員配属一覧 (2018.10.1現在)

食工房ゆいのもり

■常勤職員■

日向弘樹 (施設長)
岩波悦子 宮崎言葉
本橋剛 半田正博
鹿島崇

◆嘱託職員◆

澤邊美津子 岡本綾野

●非常勤職員●

宮尾久仁子 吉田浩子
佐々木博 加藤恵子
小西孝 内沼栄子
細井麻利子 渡辺恭子

ゆいのもりつつじが丘

■常勤職員■

嶋田敦子 (施設長)
半田潤路 貫井知弥
深津拓也 渡邊清美

●非常勤職員●

嘉手納由貴 堀越志穂
西山雅秀 齋藤浩
銭村辰夫 小沢忍
長谷川三千穂 神山美津江

ゆいのもり田中町

■常勤職員■

田中彰 (施設長)
日向亜侑 外山由佳
小板橋良佑
(休職中)

増川聡美 近藤貴代子

◆嘱託職員◆

皆川さおり 関根あずさ
井梅由美

●非常勤職員●

齋藤弥生 南部名頼

グループホーム太陽と風

■常勤職員■

浅川勤 (施設長)
小澤奏子 近真之

●非常勤職員●

高橋優子 松井せい子 奥田明子
有川明美 橋本陽子

ゆいのもり相談支援センター

■常勤職員■

嶋田敦子 (兼任)

(センター長兼就労支援担当)

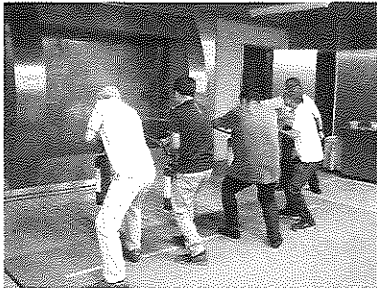
●非常勤職員●

久保稔

グループホーム太陽と風

○立川防災館○

7月に日帰りの企画で、グループホームの防災訓練を兼ね、立川防災館に行ってきました。消火、地震、煙の訓練を体験し、防災館職員の方からも色々な話をお聞きしました。日頃の訓練では実物の消火器は使うことはできないので、水消火器を使った実践はとてもためになりました。地震の揺れ、煙で前が見えない等も体験し、もしもの時に備える良い勉強の機会になりました。



○ランチバイキング ○

立川防災館で訓練を終え、お腹も減ったところで、立川グランドホテル11階レストラン「オーク」のランチバイキングに行ってきました。洋食のバイキングで様々なメニューを楽しみ、特に人気が高かったのがローストビーフで、10皿召し上がった方もいらっしゃいました。11階の個室で眺めも良く、ゆっくり好きな物を食べ楽しいひとときを過ごしました。



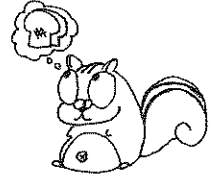
ゆいのもり

相談支援センター

○開設して4年目になりました○

2015年4月に開設し、今年で4年目になります。利用者数は42人になりました
(2018年3月末)。

サービス利用計画と一緒に
考えて、市役所に提出します。



○福祉サービスの利用をお手伝いします○

2017年度 サービス計画 作成結果

- 就労移行支援…………… 1人
- 就労継続支援A型… 1人
- 就労継続支援B型…41人
- 共同生活援助(グループホーム)… 3人
- 居宅介護(ホームヘルプ)… ……5人



○生活や健康の相談にのります○

- *相談支援では就職の意向をうかがいます。
- *相談支援専門員が暮らしの希望をお聞きします。
- *自立生活に必要な基礎的な力をつけるために
ホームヘルパー 訪問看護 デイケア 作業療法
グループホームなどの活用をお奨めします。
- *睡眠・食事・適度な運動を大切にしましょう。



2017年度ゆいのもり福祉協会事業報告

【ゆいのもり福祉協会(法人本部)】



法人全体 重点目標	理念(障害のある方々が地域で自分らしく安心して暮らし、安心して働ける、温かい地域作りをしています)と新理事会体制で実現すべきゆいのもりの懸案事項(社会福祉法人制度改革・給付費減額・企業系事業所拡大の波を乗り越え、地域社会のために、利用者中心の『楽しく、ためになって、稼げる』支援に全力で取り組む)に従い以下の重点目標を実施した。
法人全体 評価と 課題	【1. 工賃アップへの取り組み】食工房は週1回の市役所販売を実現した。つつじが丘は新たな花壇管理の受注を働きかけ30年度に実現させた。田中町は災害医療センターの落ち葉清掃を新たに受注した。【2. 就労移行への取り組み】従来の就労プログラムに加えつつじが丘にてICT治具を使用したパソコン講座を開始した。【3. 虐待防止への取り組み】利用者委員も決まり、委員会の定例的な開催を実施した。【4. 会計業務の税理士事務所への業務委託】会計の透明性を高め、専門家に相談できることにより会計に対する不安感を減らすことができた。市による実地調査にも立ち会うことにより指導に対する理解が深まった。2年目は迅速な会計処理を目指す。【5. 人材育成システムと給与制度の見直し】職務に求める能力、習得すべき研修と資格、職務に応じた給与体系が連動するシステムを作ることができた。職員に成長していく道筋を示すことができた。またこの制度作りにより、30年度から処遇改善加算Ⅰを取得することができた。【6. 福祉人間力研修】28年度の職場環境懇談会にて「社会人基本マナー研修」の希望が出されていた。29年度に専門家の講師を招いて2日間にわたる「福祉人間力研修」を実施した。職業人としての基本マナー、志を立てることが万物の源であること、理念経営による自立型人材育成等々を学んだ。嘱託職員も含め2日間学び合う経験は得難いものであった。また他法人からの参加もあり良い刺激になった。

	【7. 第三者サービス評価】就労系3事業所が受審した。評価結果を検証して各所の事業計画や次期中期計画の作成の参考にしていきたい。【8. 社会とつながる場～潜在する通所ニーズへの対応】社会とつながらないと生活は閉じてしまう。就職や工賃獲得につながらなくてもB型への通所や参加が自立生活への一歩につながっていく。そのようなニーズへの対応が課題である。
事業報告	(サービス向上) 1. 就労移行 上記掲載 2. 工賃アップ 上記掲載 3. 虐待防止への取り組み 上記掲載 4. 食品の安全衛生と作業の安全管理 研修参加と作業前確認の実施 (安定経営) 1. 会計業務委託 上記掲載 2. 適正職員定数 法律上の基準数と現状の比較をしながら職員人事を考えた。3. 人材育成システム・給与制度の見直し 上記掲載。4 社会福祉法人改正に伴う制度改正への対応 実施 (人材育成) 1. 人材育成と職場環境改善 ①「社会人基本マナー研修」上記掲載 ②「時間外労働削減」への取り組み 中堅職員主催研修のテーマとし、学ぶ。浸透してきている。 2. 教育①「職員の基本倫理」改訂 実施 ②中堅職員中心による職場交流と内部研修 実施 ③職員の学習意欲向上策 未実施 (その他) 1. 中期計画の見直し 未実施 2. 第三者サービス評価受審 上記掲載 3. 田中町移転の取り組み (田中町と協働) 継続中 4. よりメンバーが活躍する活動報告会の実施 実施 5. 非常災害時体制計画の毎年時作成 実施 6. 地域支援協議会と障害者(児)福祉ネットワークへの無理のない参加。実施

【食工房ゆいのもり】

活動内容	作業活動	・パンカフェ作業 (工房でのパン製造・焼成、カフェ部門での接客作業、役所内・市内高齢者施設での販売) ・館内清掃 (館内外の清掃と作業環境整備) ・軽作業 (M社グッズ作業、T社ゼッケン部品作業など)			
	その他	・利用者ミーティング (月1~2回)、防災訓練、食品衛生および感染症の講座等 ・就労準備性/生活スキル向上、パソコン教室等 就職準備訓練や適応訓練への参加、就労プログラムへの参加等 ・日帰り旅行、一泊旅行、食事会、茶話会、昭島市チャレンジデー等			
事業計画	(サービス向上) 1. 就労移行支援目標 就労者の輩出2名以上、3施設連携とプレ移行制度を進める。 2. 就労継続支援B型目標 採算性を考えた軽作業体制づくり、新事業の可能性検討。パンカフェにおいては次のことを実施し、工賃アップ等を目指す。①利用者とともに冷蔵パン製造と技術アップを図る。②地産地消の製品の開発を進める。③昭島市等公的なイベントに参加する。④外部販売・販路の開拓を進める。⑤技術の継承を目的としたパン製本の作成。(安定経営) 就労移行支援登録者7名、一日平均利用者4名を目指す。 就労継続支援B型登録者48名、一日平均利用者32名を目指す。(人材育成) 1. 研修計画に基づく職員研修の実施 2. 新入職員の育成とフォローアップ体制を整える (その他) 1. 店舗環境の改善に向けて継続して検討していく。2. 利用者支援充実のため、相談支援センターとの連携を大切にす。3. 第三者サービス評価受診に基づく事業点検・整備を行う。4. 食品の安全衛生の徹底。				
事業報告	(サービス向上) 1. ①就労移行: 就職者1名、プレ移行5年目、2017年度2名が就労移行へ 就職活動中が1名、現場実習中が1名 2. 軽作業-1日延べ10~15名参加、時給を下げ、採算の検討を実施中。パンカフェにおいては、①冷蔵パン作業従事者延べ18名参加。②③拝島ねぎチーズカレーパンを開発。フードグランプリで約3000個販売、金賞受賞 ④販路開拓として3か所目の屋形商(市役所内販売)を実現。カフェスペースの一部を利用者の自主製品販売コーナー「縁むすび」を設置。 (安定経営) 就労移行支援登録者は最大6名、一日平均3.9名利用、 就労継続支援登録者は最大44名一日平均26.3名利用。 (人材育成) 1. 各職員が必要に応じた利用者支援研修その他本人希望の研修を受講 ・就業基礎研修・食品衛生責任者研修受講各1名 ・人権研修1受講3名など 2. 新入職員育成-先輩職員と共同で業務を習得した。業務日報による振り返りを実施。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	6人	5人	971人	246日	3.9人
就労継続	34人	40人	6,463人	246日	26.3人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額 (A)	工賃支払者延べ人数 (B)	平均月額工賃A/B
	17,169,779円		4,336,610円	491人	8,832円

【ゆいのもり つつじが丘】

活動内容	作業活動	・昭島市保健福祉センター清掃、定期清掃(ワックス)、花壇管理 ・軽作業 (タオルやシーツのたたみ作業) 手作りのお店「ゆいのもり」(つつじが丘店)の営業			
	その他	・食事づくり (火・木、1食250円1回20食程度) ・ミーティング (保健福祉センター清掃/1か月1回、行事のミーティング/2か月1回) ・就労プログラム、就労パソコン講座開設準備 ・行事 (外食、スポーツ、日帰り旅行、一泊旅行) ・イベント参加 (いきいき健康フェスティバル等)			
事業計画	(サービス向上) 1. 工賃アップ・軽作業赤字構造の立て直しと作業量確保 2. プレ移行の支援強化 (安定経営) 1. 通所者数1日平均30名(登録者60名)を目指す (人材育成) 1. 職員個々の目標と研修計画の作成 2. 新入職員の定着への職員体制づくり 3. パート職員の定期面談実施 (その他) 1. つつじが丘6-114の有効活用および相談支援センターとの連携				
事業報告	(サービス向上) 1. 軽作業の赤字幅を縮小した。新規事業として落ち葉清掃を受託。定期清掃の時給アップは見送った。 2. 4月よりプレ移行に1名新規登録となった。 就労移行へ1名異動した。(安定経営) 1. 登録者数は53~55名で推移し、1日平均利用者数は29名で30名には届かなかった。(人材育成) 1. 職員個々の希望の研修に参加、実習指導者研修の修了者を輩出できた。 2. 先輩職員による新入職員の1か月ごとの振り返りを実施1年かけて必要業務を身に付けることができた。昨年度より常勤1名現となり、嘱託1名新規の体制で取り組んだが、業務の整備が進まず時間外労働の削減は達成できなかった。(その他) 1. 6-114を相談支援センターと時間帯を分けて共同利用している。相談支援センターとの連携により、地域生活支援と医療との連携に関する支援力を高めることができた。ICTによるパソコン講座開設準備を行った。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労継続	30人	53人	7,463人	252日	29.6人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額 (A)	工賃支払者延べ人数 (B)	平均月額工賃A/B
	14,183,400円		5,463,342円	582人	9,367円

【ゆいのもり 田中町】

活動内容	作業活動	・喫茶作業・弁当作業 喫茶森における接客、厨房作業、準備、片付け作業 つつじが丘事業所向け弁当作業 ・軽作業 箱折り、DM作業等 ・除草・落ち葉作業 各所年 2～3回、市内4か所および東京税関、災害医療センター ・公園清掃 週1～2回、上ノ台公園および拝島緑地広場			
	その他	・パティシエクラブ 年3～4回のお菓子作りのクラブ活動 ・メンバーミーティング 月1回作業と行事について話し合う。記録は交代でパソコン入力し通信を完成する。 ・就労プログラム 月1回 3施設合同			
事業計画	(サービス向上) 1. 喫茶事業の業務効率化 2. 軽作業体制の整備・引継ぎ 3. プレ移行支援強化 4. 屋外事業体制のさらなる確率 5. 工賃UPに向けてのさらなる取り組み (安定経営) 1. 通所者数1日平均21名(登録者数43名)を目指す(人財育成) 1. 研修計画に基づく職員研修の実施 2. 各職員との面談を通じ、目標設定・組織的役割の明確化を図る。3. 職員間連携の強化、嘱託職員の活用。 (その他) 1. 事業所移転に向けての検討・実施 2. 休日プログラム・イベントの試行 3. 安全管理の取り組み				
事業報告	(サービス向上) 1. 嘱託職員の活用により常勤の負担軽減。喫茶スペースの拡張実現。2. 非常勤に嘱託職員として現場を担ってもらうことで取引量強化がなされた。 3. プレ移行2名輩出、1名移行へ移籍を実現。4. 新規で落ち葉清掃獲得。5. 上記1～4の取り組みで工賃UPが図れた。(安定経営) 1. 通所者数1日平均21名達成。延べ利用者数も約160名増加した。 (人財育成) 1. 中堅職員研修、キャリアパス研修などに参加 2. 職員面談を適宜実施し、職員体制の変化に柔軟に対応できた。 3. 常勤パート職員のシフト体制を調整し、連携しあう意識や体制については強化が図れた。短時間勤務職員2名、退職者や産休など職員状況が大きく動く中、嘱託職員の存在により、体制が維持できた。 (その他) 1. 白樺荘跡地などの土地の検討を実施。 2. 4月29日イベントにてドリンク販売実施。 3. 食品衛生講習参加				
就労継続	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
	20人	36人	5,164人	246日	21.0人
工賃状況	総売り上げ	工賃総額 (A)	工賃支払者延べ人数 (B)	平均月額工賃 A/B	
	13,059,964円	3,547,700円	425人	8,347円	

【ゆいのもり相談支援センター】

事業計画	昭島市の障害者福祉に寄与する。 当法人の支援力向上に貢献する。 関係機関との連携・協力による地域福祉に貢献する。 安定経営 相談支援給付額収入と契約者数の年間目標(42人)により安定経営を進める。		
事業報告	(昭島市の障害者福祉への寄与) 昭島市民42人の福祉サービス利用の計画相談支援ができた。 (当法人の支援力向上) ゆいのもり各事業所の担当者の側面的支援ができた。具体的に生活相談、受診同行、病院訪問、グループホーム利用者の相談を行なった。 (関係機関との連携・協力による地域福祉への貢献) 昭島市障害者地域支援協議会の相談部会および昭島市業務連絡会(精神)に参加した。就労支援として就労継続A型事業所への移籍支援を1件実施した。障害者就業・生活支援センターとの連携が1件、ヘルパー事業所との連携で居宅介護のサービス導入が2件できた。(利用合計5件) 訪問看護は2件導入した。(利用合計4件) (安定経営) 収入(計画相談支援給付費)は人件費の77.6.0%で昨年度80%より2.4%ダウンした。入院支援と生活支援に時間を要した。新規の契約数が7件で、合計42件まで増やせた。計画数が昨年比-7件だがモニターが+10件なので収入は増えた。 (その他) 昭島市の近隣5市とも利用者支援(7人)で連携できた。次年度から報酬単価の改定(基本単価減・加算+)のため加算増で収入の維持を図る工夫が必要である。(モニタリング増、機関連携・現地訪問等)		
	契約数	計画作成	モニタリング作成
	42人	37人	65人

【グループホーム太陽と風】

活動内容	(個別支援) 日常生活相談、買い物・清掃・調理支援、金銭管理、服薬管理、計画作成支援、入退居支援、入退院支援、手続き関係支援、通院同行、居室訪問、安否確認、OB支援、家族支援、支援機関ネットワークづくり支援 (定期的活動) 夕食会(火・木)、メンバーミーティング、職員会議、防災訓練		
事業計画	(事業目標) 1. ゆいのもりが承継したグループホームの運営を安定したものとす。2. 入居・退去の支援を確実にし、空室が出ないようにする。3. 夕食会の継続。4. 入居者受け入れの条件の整備。 5. 利用料の見直しを検討する。 (収入の確保) 共同生活援助: 定員12名(風6名、空6名) (人財育成・教育) 1. 職員個々の目標と研修計画を作成する。2. 業務を分担できる職員体制づくり。3. 他のグループホームの見学の機会を設ける。 (その他) 1. ゆいのもりの他事業所との交流、連携を図る。2. 食品衛生の徹底。		
事業報告	(事業目標) 1. 多数の入退去者に密な連絡調整で対処できた。サテライト住居の老朽化に対し移転が実現できた。2. 相談支援センターの支援を受けながら、入退去時の支援力を向上できた。3. 新たなパート職員を雇用し、常勤職員の負荷軽減が実現した。4. 緊急度と共同生活援助のサービスを有効に利用できることを条件とした。5. 新サテライト住居の備品購入に利用料の一部を充当した。見直しは今後も行う。 (収入の確保) 安定的に収入を確保できた。 (人財育成・教育) 1. 市の学習会、多摩総など希望の研修に参加できた。また、医療観察法研修に参加した。2. 業務を交代しながら会計以外の業務を各職員ができるよう調整ができた。3. 今年度は見学の機会を設けられなかった。 (その他) 主任・中堅職員会議や会計会議への参加や他事業所職員の夕食会参加により交流が進んだ。また他事業所実習生の見学受け入れや車両の借用、行事の共同実施なども交流・連携に役立っている。2. 感染症予防の観点から手拭タオルの共用を廃止した。		
	定員	男女比	年度内新規利用者5名 年度内利用終了者7名 うち単身生活5名、グループホーム入居1名、死亡1名
	12名	男性5名、女性4名(2017年度末)	

2017年度 収支状況等報告一覧

貸借対照表 (2018年3月31日現在) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	168,775,576	146,543,389	22,232,187	流動負債	14,570,759	11,611,155	2,959,604
現金預金	131,161,529	111,204,540	19,956,989	事業未払金	3,852,749	7,999,806	-4,147,057
事業未収金	36,260,652	33,189,620	3,071,032	その他の未払金	1,496,168	0	1,496,168
商品・製品	0	210,908	-210,908	預り金	5,200,302	3,611,349	1,588,953
原材料	998,789	1,256,309	-257,520	仮受金	0	438,319	-438,319
立替金	354,606	2,012	352,594	賞与引当金	4,021,540	0	4,021,540
前払費用	0	680,000	-680,000	その他流動負債	0	0	0
固定資産	281,074,677	278,446,865	2,627,812	固定負債	1,030,000	1,260,000	-230,000
基本財産	157,565,185	162,714,826	-5,149,641	設備資金借入金	0	0	0
土地	107,332,361	107,332,361	0	リース債務	0	0	0
建物	50,232,824	55,382,465	-5,149,641	その他の固定負債	1,030,000	1,260,000	-230,000
その他の固定資産	123,509,492	115,732,039	7,777,453	負債の部合計	15,600,759	12,871,155	2,729,604
建物	10,852,050	11,691,730	-839,680	純資産の部			
機械装置及び車両	4,445,738	4,382,837	62,901	基本金	59,192,923	59,626,156	-433,233
器具及び備品	7,293,151	8,733,599	-1,440,448	国庫補助金等特別積立金	98,143,381	102,788,436	-4,645,055
権利	152,880	152,880	0	その他の積立金	97,569,853	88,269,853	9,300,000
投資有価証券	60,000	60,000	0	その他の積立金	88,269,853	55,350,000	32,919,853
その他の積立資産	97,569,853	88,269,853	9,300,000	次期繰越活動増減差額	179,343,337	161,434,654	17,908,683
差入保証金	40,000	10,000	30,000	(内当期活動増減差額)	26,775,450	20,437,060	6,338,390
長期前払費用	634,680	0	634,680	純資産の部合計	434,249,494	412,119,099	22,130,395
敷金	2,461,140	2,401,140	60,000	負債および純資産の部合計	449,850,253	424,990,254	24,859,999
保証金	0	30,000	-30,000				
資産の部合計	449,850,253	424,990,254	24,859,999				

事業活動内訳表 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会

勘定科目		合計	本部	食工房 ゆいのもり	ゆいのもり つつじが丘	ゆいのもり 田中町	相談支援 センター	太陽と風	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	44,204,225	0	16,951,603	14,188,150	13,064,472	0	0
		障害福祉サービス等事業収益	215,403,915	0	68,046,085	65,657,101	49,270,228	1,583,063	30,847,438
		経常経費寄付金収益	243,000	243,000	0	0	0	0	0
		サービス活動収益計(1)	259,851,140	243,000	84,997,688	79,845,251	62,334,700	1,583,063	30,847,438
	費用	人件費	139,245,927	191,643	52,781,021	37,035,004	30,504,240	2,085,940	16,648,079
		事業費	15,059,730	0	6,688,555	3,675,705	3,198,881	2,400	1,494,189
		事務費	33,079,072	3,092,111	4,956,692	7,058,461	6,084,065	111,945	11,775,798
		就労支援事業費用	41,113,976	0	15,435,016	13,808,486	11,870,474	0	0
		利用者負担軽減額	184,810	0	126,350	58,460	0	0	0
		減価償却費	9,798,953	23,100	7,412,467	1,312,276	994,133	0	56,977
国庫補助金等特別積立金取崩額	-4,645,055	0	-4,645,055	0	0	0	0		
サービス活動費用計(2)	233,837,413	3,306,854	82,775,046	62,948,392	52,651,793	2,200,285	29,975,043		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	26,013,727	-3,063,854	2,242,642	16,896,859	9,682,907	-617,222	872,395		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0	0	0	0	0
		受取利息配当金収益	5,025	3,245	542	584	452	16	186
		その他のサービス活動外収益	354,736	319,000	6,061	22,577	140	0	6,958
	サービス活動外収益計(4)	359,761	322,245	6,603	23,161	592	16	7,144	
	費用	支払利息	0	0	0	0	0	0	0
		その他のサービス活動外費用	8,038	0	495	1,529	1,450	0	4,564
サービス活動外費用計(5)	8,038	0	495	1,529	1,450	0	4,564		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	351,723	322,245	6,108	21,632	-858	16	2,580		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	26,365,450	-2,741,609	2,248,750	16,918,491	9,682,049	-617,206	874,975		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	410,000	0	240,000	170,000	0	0	0
		施設整備等寄付金収益	0	0	0	0	0	0	0
		固定資産受贈額	0	0	0	0	0	0	0
		拠点区分間繰入金収益	0	9,423,140	480,000	4,364,948	36,080	400,000	5,000,000
		拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0	0	0	0	0
	特別収益計(8)	410,000	9,423,140	720,000	4,534,948	36,080	400,000	5,000,000	
	費用	基本金組入額	0	0	0	0	0	0	0
		固定資産売却損・処分損	0	0	0	0	0	0	0
		国庫補助金等特別積立取崩額	0	0	0	0	0	0	0
		国庫補助金等特別積立額	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分間繰入金費用		0	51,028	8,169,798	6,999,797	2,833,545	0	1,650,000	
特別費用計(9)	0	51,028	8,169,798	6,999,797	2,833,545	0	1,650,000		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	410,000	9,372,112	-7,449,798	-2,464,849	-2,797,465	400,000	3,350,000		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	26,775,450	6,630,503	-5,201,048	14,453,642	6,884,584	-217,206	4,224,975		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	161,434,654	2,770,064	61,520,249	63,728,200	33,627,553	2,115,142	-2,326,554	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	188,210,104	9,400,567	56,319,201	78,181,842	40,512,137	1,897,936	1,898,421	
	基本金取崩額(14)	433,233	0	0	0	0	0	433,233	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	9,300,000	6,220,000	600,000	1,330,000	1,150,000	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)	179,343,337	3,180,567	55,719,201	76,851,842	39,362,137	1,897,936	2,331,654		

ゆいのもりの皆さんとともに

吉澤孝行さん（自立生活センター昭島）

私の障害は脳性まひと言います。生まれた頃は、小児まひ（ポリオ）と区別がつかず、混同されていました。

大人になってから周産期のトラブルによる後遺症だとわかってきました。その次に、自分の運動機能障害の原因が脳内の微弱な電気信号が関係していると知り、自分ではどうしようもないことだと思ったことがありました。

この脳内の電気信号のコントロールは、精神障害でも大きな課題だと分かってきた事や、そのために薬剤が格段に研究が進んだり調整方法も考え方が変化してきてオーダーメイドに近くなっていることも聞いています。それは私が車いすに乗るときに、自分の体格に合わせてオーダーメイドすることと、似ているのかなと思っています。

私が勤めている自立生活センターは、当事者が主体となって運動と事業を行っている団体です。私達が考える自立生活とは、基本的には施設や親の庇護の下での生活という形ではなく、ごく当たり前のことが当たり前にでき、その人が望む場所で望むサービスを受け、普通の人生を暮らしていくことです。（全国自立生活センター協議会ホームページより抜粋）また、これは危険を冒す権利と、決定したことに責任を負える人生の主体者であることを、周りの人たちが認めること（同ホームページより抜粋）これは精神障害の方も、同じだと思います。

親が歳をとったり兄弟が独立したりして、家族関係が変化したとしても、昭島で暮らせるように、皆さんと力を合わせて活動をしていきたいと思っています。これからも宜しくお願いします。

▼東京都共同募金会からご寄付

食工房ゆいのもり 130,000円（備品整備）
 ゆいのもりつつじが丘 260,000円（社会訓練）
 ゆいのもり田中町 1,770,000円（車両更新他）
 太陽と風 190,000円（社会訓練）

・食工房はトイレのベビーチェアなど購入しました。つつじが丘・太陽と風は、宿泊研修を目的として1泊旅行を行います。田中町は軽作業用車両を買い替えました。ありがとうございました。

【ゆいのもり福祉協会 理事・評議員・監事 一覧】 （2018年9月1日現在）

浅川勤（理事長） 長瀬幸弘 池田正 吉村謙
 久保稔 田中彰 （以上、理事6名）
 高橋由美 橋本久貴 荒井伸一郎 佐々木雄平
 笈川信之 関禎一 渡辺おりえ
 （以上、評議員7名）
 田中文人 清水厚子 （以上、監事2名）

ゆいのもり賛助会へのご協力をお願い

これまで皆様のご協力により法人立ち上げ時の借入金の返済などに使わせていただきました。現在、ゆいのもり田中町の移転が課題になっています。活動に賛同して下さる方の協力がまだまだ必要です。賛助会への入会・ご協力をお願い申し上げます。

郵便振替：口座番号00190-0-671647

口座名：ゆいのもり賛助会 年間一口2000円（何口でも可）

【ホームページ】

利用希望受入れ状況、職員募集、事業報告、決算、各事業所の製品の紹介が見られます。「ゆいのもり福祉協会」で検索してみてください。

◆ <http://yuinomori.or.jp/>

○ゆいのもり福祉協会 活動報告会○ 2018年10月13日（土）午後2時～ 昭島市役所1階 市民ホールにて

今年は【「わ」～つながる笑顔、ひろがる安心】をメインテーマに食工房と田中町を利用しているメンバーさんの話を中心に活動をご紹介します！ぜひお気軽にご参加ください。

「産業祭・昭島フランド・ フードグランプリ」に出場します！ 2018年11月10日（土）11日（日） （食工房ゆいのもり）

今年も出場します！メニューは新作を開発中。昨年を超えるものを目指してがんばります。皆様の応援、よろしくお祈りします！